

「農業支援サービス事業育成対策」
の政策効果に関する効果分析
報告書概要版

2023年3月

第1章 はじめに

- 本事業では、農林水産省におけるエビデンスに基づく政策立案（EBPM: Evidence-Based Policy Making）の推進に向け、「農業支援サービス育成対策」の効果分析および政策の改善に資する調査分析を実施した。
- 具体的には、「農業支援サービス育成対策」の採択事業者および同サービスを利用する農業者へアンケート調査を実施したほか、農業支援サービスの利用に係る効果を定量的に検証するためのウェブアンケートを実施し、その効果を分析した。

調査の全体像

第2章 「育成対策」により生じる効果の検証

- 「育成対策」により生じる効果の検証に係る調査事項として、「育成対策」採択事業者へのアンケート調査および同事業者のサービスを利用している農業者へのアンケート調査について実施方法と結果を取りまとめた。
- 加えて、アンケート調査の設計等におけるポイントについて整理した

第3章 農作業のアウトソーシングによる有効性の検証

- 第3章では、農作業のアウトソーシングによる有効性の検証に係る調査事項として、既存のアウトソーシングの効果のエビデンスに係る文献調査の結果を取りまとめた。
- 加えて、農業支援サービスの利用に係る効果等を定量的に検証するための手法として、ウェブアンケートを用いた効果検証を行い、その分析結果を整理した。

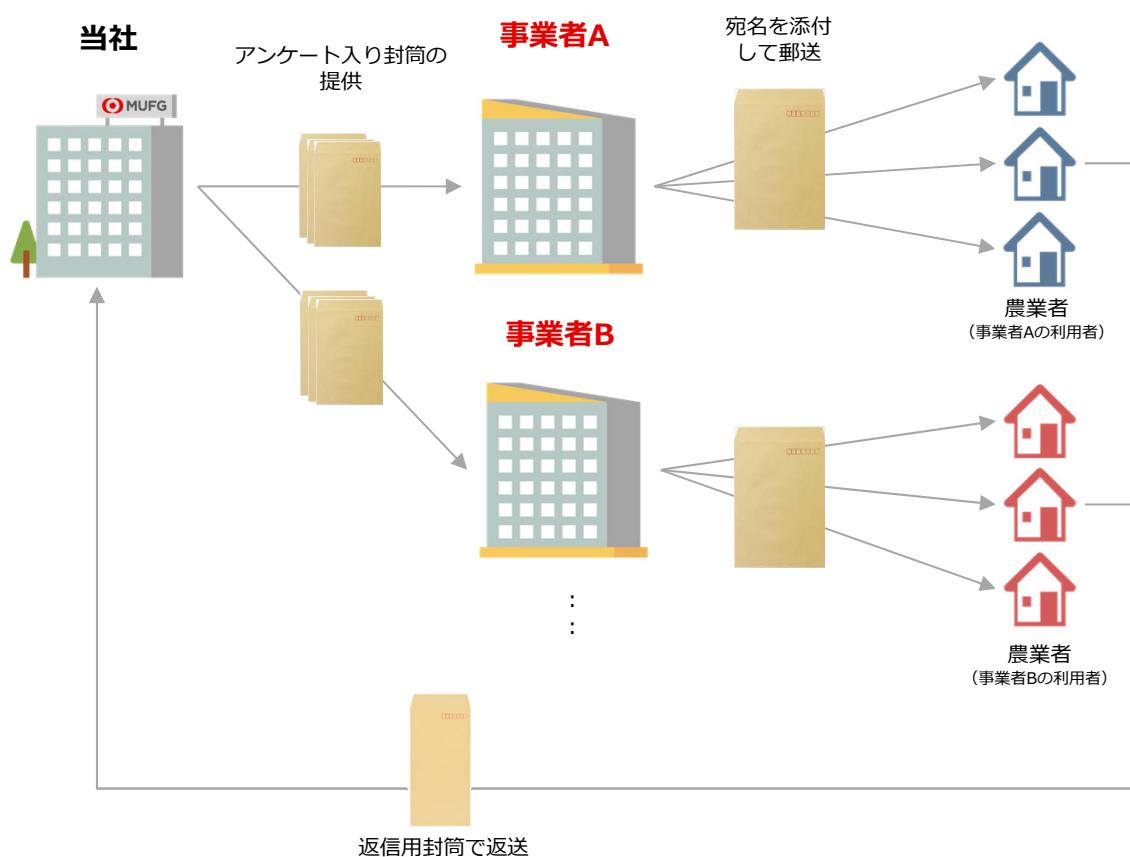
第4章 結論

- 第4章では得られた結果を総括し、結論を整理した。

第2章 「育成対策」により生じる効果の検証

実施方法

- 令和3年度～4年度に「育成対策」に採択された13事業者に対してアンケート調査を実施した。
- さらに、令和3年度に採択された事業者に対しては、各事業者のサービスを利用している顧客（農業者）に対するアンケート実施を依頼した。
- 農業者へのアンケート実施フローは下図に示す通りであり、計110件のアンケートを回収した。

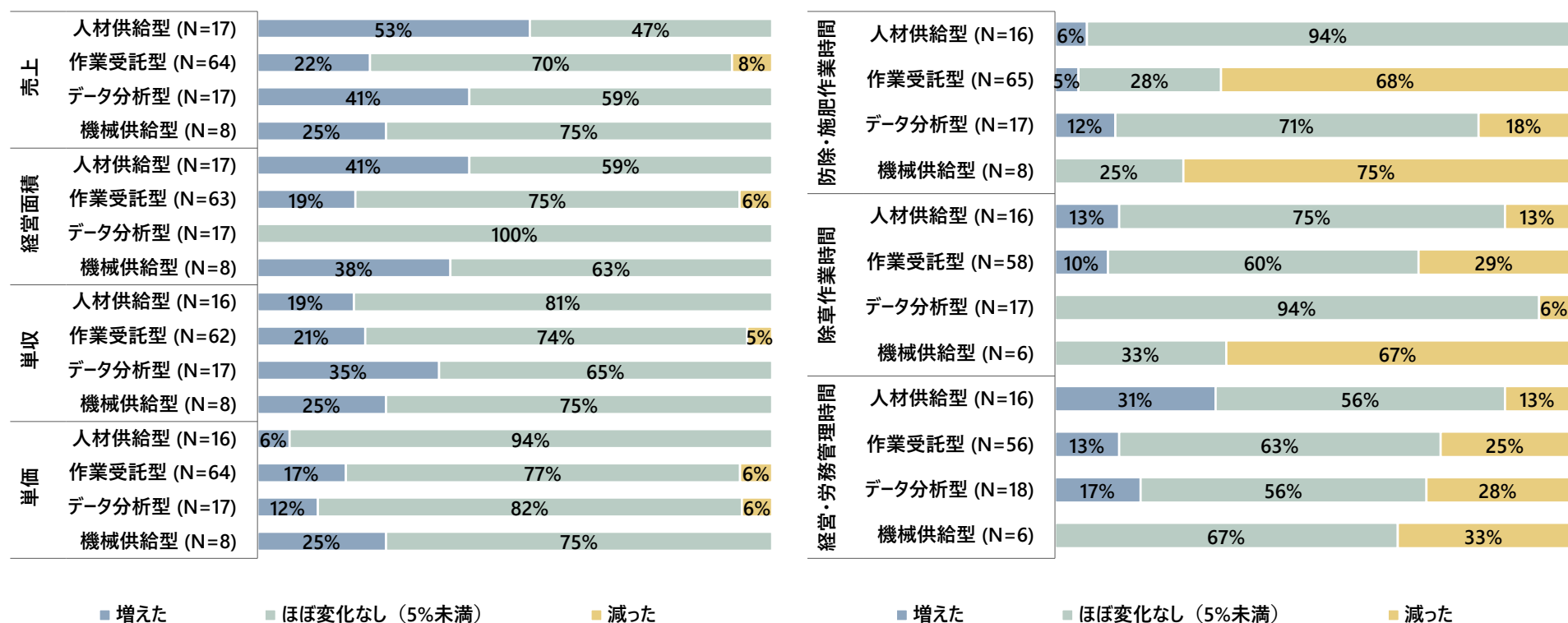


第2章 「育成対策」により生じる効果の検証

結果：「育成対策」採択事業者のサービス利用者へのアンケート結果

- サービスの利用前後で生じた効果に関するアンケート回答結果を集計すると、人材供給型やデータ分析型のサービスでは、売上増加に与える効果が大きかった。
- 一方で、作業受託型と機械供給型のサービス利用者では作業時間の大幅な減少が見られた。

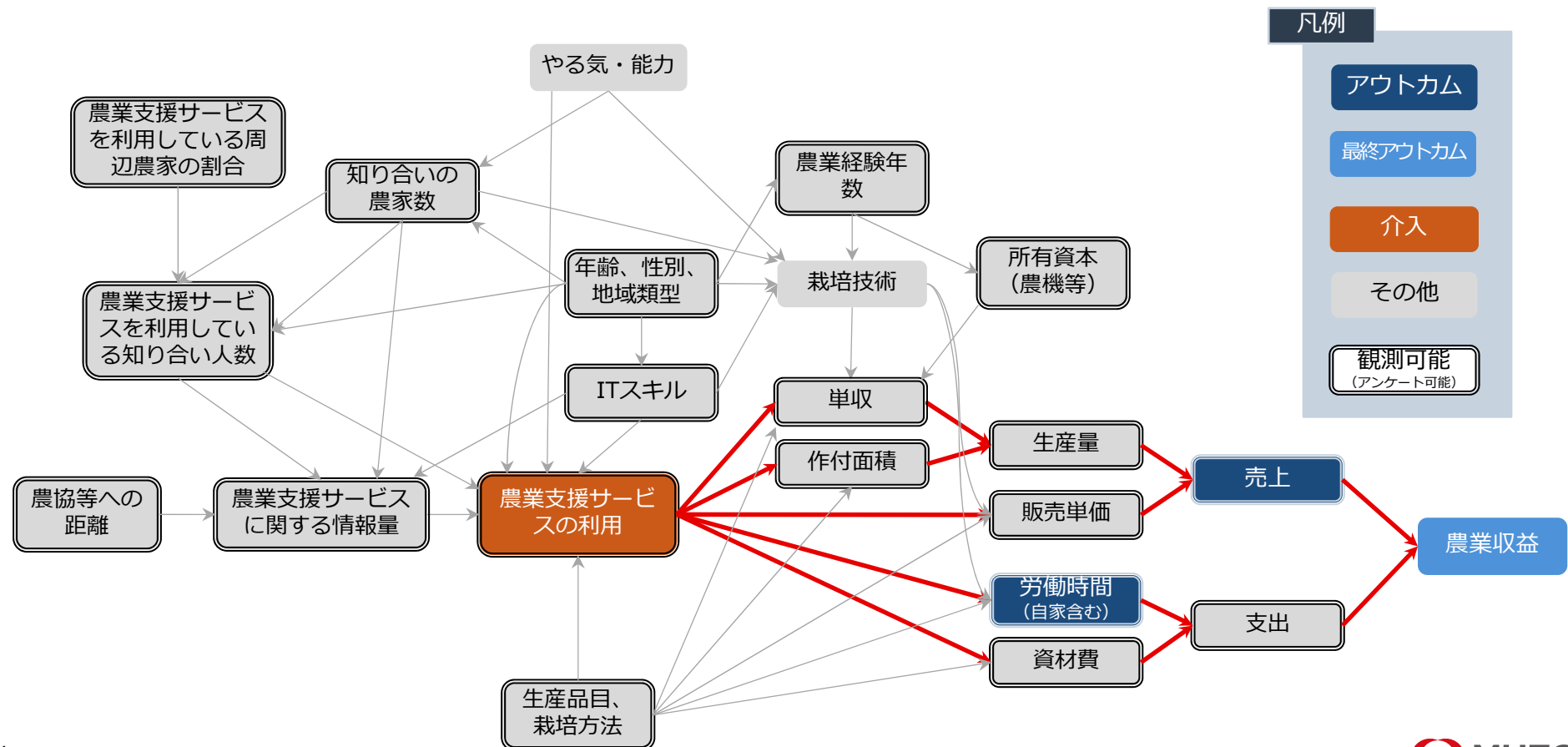
アンケート集計結果：農業支援サービスの利用前後で生じた変化



第3章 農作業のアウトソーシングによる有効性の検証

実施方法

- 農作業のアウトソーシング（農業支援サービスの利用）による効果を分析するため、農業者を対象としたWebアンケートを実施した。（N=1,546）
- アンケート調査票の設計に際しては、DAG（Directed Acyclic Graph）と呼ばれる因果構造を可視化したグラフを作図した上で、分析に必要と考えられる変数を取得した。

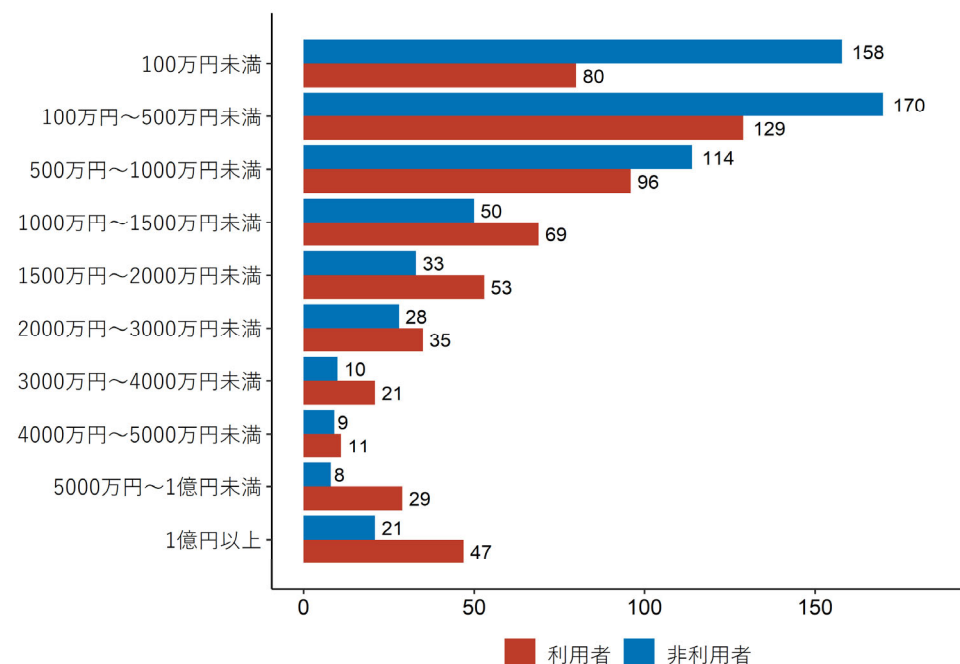


第3章 農作業のアウトソーシングによる有効性の検証

結果

- Webアンケート結果より、サービス利用者と非利用者の売上を単純に比較したところ、サービス利用者において売上が大きかった。しかし、重回帰分析および操作変数法を用いたところ、売上に対する明確な効果は確認されなかった。
- 一方で、重回帰分析および操作変数法による分析の結果からは、農業支援サービスの利用が労働時間の削減に資する効果が確認された。

サービス利用者と非利用者の売上の単純比較



操作変数法によるサービス利用効果の分析結果

	ln(2022年の 販売額) (1)	週労働時間 (本人) (2)	週労働時間 (本人以外) (3)
農業支援サービスの利用	-0.049 (0.125)	-9.465*** (3.307)	-5.589 (3.543)
N	881	1020	789
Adjusted R2	0.762	0.201	0.255
第一段階のF値	13.277	15.721	14.886
過剰識別検定 (p値)	0.002	0.222	0.037

注：カッコ内は不均一分散に頑健な標準誤差である。***は1%水準で統計的に有意であることを表す。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

www.murc.jp/